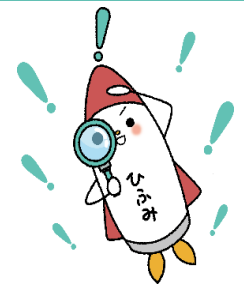


ひふみワールド 月次ご報告書

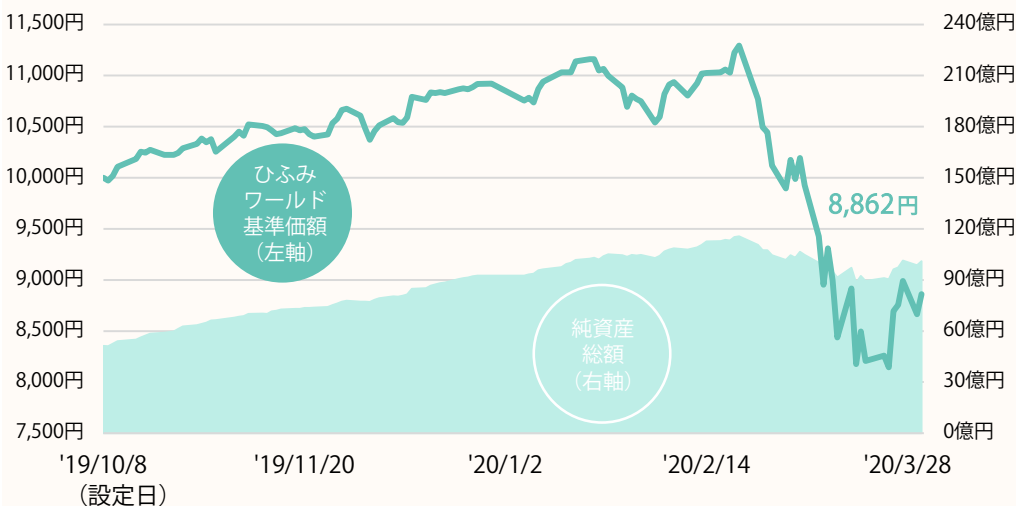
追加型投信/海外/株式

レオス・キャピタルワークスよりお客様へ
資産形成のパートナーに「ひふみワールド」をお選びいただき、ありがとうございます。
運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告します。



運用実績

基準価額等の推移（日次）



作成基準日：2020年3月31日

※当レポートで言う基準価額とは「ひふみワールド」の一万口あたりの値段のことです。また信託報酬控除後の値です。

※当レポートにおいて特段の注記がない場合は、基準日時点における組入銘柄比率や運用実績を表しています。また運用成績など表記の値については、小数点第二位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。

※「純資産総額」は1,000万円未満を切捨てて表示しています。

※「受益権総口数」とは、お客様に保有していただいている口数合計です。

※「ひふみワールド」は、ひふみワールドマザーファンド（親投資信託）を通じて実質的に株式へ投資しています。

※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「基準価額の変動要因」は、月間の変動額を主な要因に分解した概算値であり、実際の数値とは異なる場合があります。また、四捨五入等の関係で、内訳の各数値の合計は「株式・投資証券」「為替」や「基準価額変動額」と合わない場合があります。「株式・投資証券」のうち、米国には米ドル建て、欧州にはユーロ、イギリス・ポンド、スウェーデン・クローナ建て、アジア・オセアニアには香港ドル建て等の株式・投資証券が含まれます。「信託報酬・その他」のその他には、設定、解約の影響などがあります。

運用成績

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ひふみワールド	-12.4%	-18.9%	-	-	-	-11.4%

ひふみワールドの運用状況

基準価額	8,862円
純資産総額	101.0億円
受益権総口数	11,402,919,296口

ひふみワールド 投資信託財産の構成

ひふみワールドマザーファンド	100.3%
現金等	-0.3%
合計	100.0%

分配の推移（1万口当たり、税引前）

期	2020年2月	0円
第1期		
第2期	-	-
第3期	-	-
第4期	-	-
第5期	-	-
第6期	-	-
設定来合計		0円

基準価額の変動要因

基準価額変動額（月次） -1,257円

〔内訳〕

株式・投資証券	-1,116円
米国	-638円
欧州	-313円
アジア・オセアニア	-165円
その他	+0円
為替	-134円
米ドル	-86円
ユーロ	-12円
香港ドル	-6円
その他	-30円
信託報酬・その他	-7円

資産配分比率などの状況

ひふみワールドマザーファンドの状況

純資産総額 579.9億円

組み入れ銘柄数 89銘柄

資産配分比率

海外株式 76.2%

投資証券 2.4%

現金等 21.4%

合計 100.0%

時価総額別比率

10兆円以上 16.0%

1兆円以上10兆円未満 42.1%

3,000億円以上1兆円未満 16.7%

3,000億円未満 3.8%

組み入れ上位10カ国 比率

1 アメリカ 51.7%

2 中国 6.1%

3 フランス 4.5%

4 イギリス 2.4%

5 ドイツ 2.3%

6 カナダ 1.8%

7 アイルランド 1.8%

8 台湾 1.7%

9 スウェーデン 1.5%

10 香港 1.3%

組み入れ上位10通貨 比率

1 米ドル 62.3%

2 ユーロ 7.3%

3 香港ドル 5.4%

4 イギリス・ポンド 1.4%

5 スウェーデン・クローナ 1.0%

6 オーストラリア・ドル 1.0%

7 フィリピン・ペソ 0.3%

8 - -

9 - -

10 - -

組み入れ上位10業種 比率

1 ソフトウェア・サービス 17.5%

2 資本財 8.4%

3 メディア・娯楽 8.4%

4 半導体・半導体製造装置 7.0%

5 各種金融 6.9%

6 消費者サービス 5.8%

7 ヘルスケア機器・サービス 5.2%

8 小売 4.6%

9 食品・生活必需品小売り 1.9%

10 テクノロジー・ハードウェアおよび機器 1.8%

※「資産配分比率」「時価総額別比率」「組み入れ上位10カ国比率」「組み入れ上位10通貨比率」「組み入れ上位10業種比率」はマザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「投資証券」はREIT（不動産投資信託）等です。





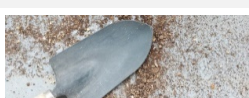
※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「時価総額別比率」は基準日時点のBloombergの情報を元に作成しております。

※「組み入れ上位10カ国比率」は原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれません。

※「組み入れ上位10業種比率」は株式における上位業種を表示し、原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に準じて表示しております。

銘柄紹介（基準日時点の組入比率1～10位）

	銘柄名	国	通貨	業種	組入比率
		銘柄紹介			
1	TAKE-TWO INTERACTIVE SOFTWARE, INC. 	アメリカ	米ドル	メディア・娯楽	2.1%
2	INTUITIVE SURGICAL, INC. 	アメリカ	米ドル	ヘルスケア機器・サービス	2.0%
3	BJ'S WHOLESALE CLUB HOLDINGS, INC. 	アメリカ	米ドル	食品・生活必需品小売り	1.9%
4	TEXAS INSTRUMENTS INCORPORATED 	アメリカ	米ドル	半導体・半導体製造装置	1.8%
5	ACCENTURE PLC-CL A 	アイルランド	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.8%
6	SAP SE 	ドイツ	ユーロ	ソフトウェア・サービス	1.7%
7	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING-ADR 	台湾	米ドル	半導体・半導体製造装置	1.7%
8	MICROSOFT CORPORATION 	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.5%
9	QUALCOMM INCORPORATED 	アメリカ	米ドル	半導体・半導体製造装置	1.5%
10	SITEONE LANDSCAPE SUPPLY, INC. 	アメリカ	米ドル	資本財	1.5%

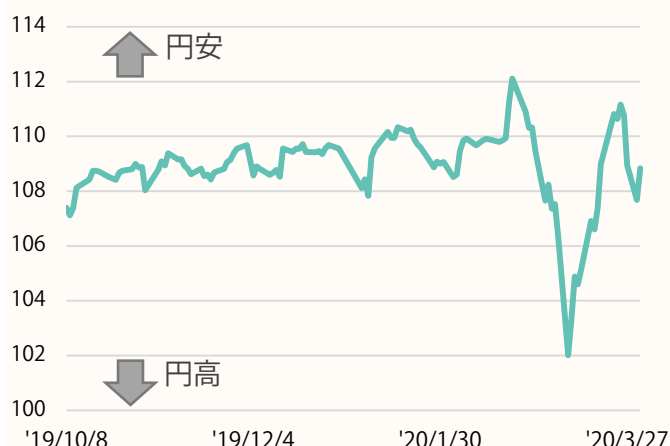
※国は原則として発行国を表示しています。なお、国には地域が含まれます。
 ※業種は原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に基づいて表示しています。
 ※組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

MSCI ACWI ex JAPAN(配当込み)(米ドルベース)の推移



当月騰落率 -15.0%

米ドル／円の推移



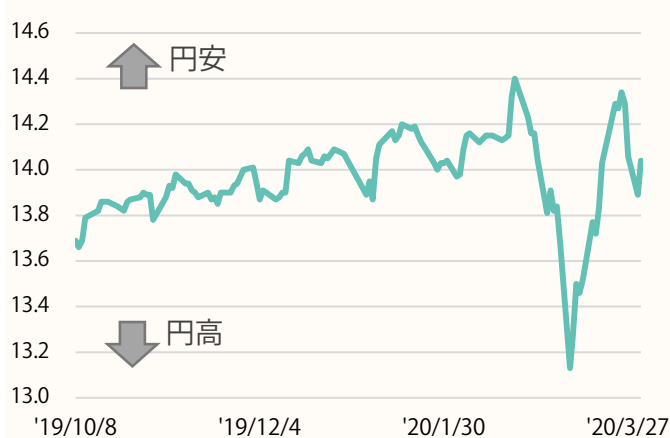
当月騰落率 -0.5%

ユーロ／円の推移



当月騰落率 -0.6%

香港ドル／円の推移



当月騰落率 0.0%

※MSCI ACWI ex JAPAN (配当込み) はBloombergのデータを元に作成しております。なお、MSCI ACWI ex JAPANの当月騰落率は、基準価額への反映を考慮して、月末前営業日の指数値を基に算出しております。

※MSCI ACWI ex JAPANは当ファンドのベンチマーク（運用する際に目標とする基準）ではありませんが、参考として記載しています。なお、MSCI ACWI ex JAPANは配当込みで、米ドルベースです。

MSCI ACWI ex JAPANは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国、新興国の株式を対象として算出している指数です。同指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。

※為替レートは一般社団法人 投資信託協会が発表する仲値（TTM）です。

生活様式の変化に対応した企業に投資

消費やエネルギー関連は売却

新型コロナウイルス対策で、各国では都市封鎖が広がっています。3月19日には米ニューヨーク州、カリフォルニア州、イリノイ州で外出禁止令が出され、米国以外でも同様の措置が次々に取られました。NYダウは前月末比13.7%の下落（ドルベース）となり、米国以外の市場も概ね10%以上の下落となりました。このような環境下ひふみワールドは12.4%下落し8,862円となりました。世界で経済活動が停滞し、感染者数が増加している現状から鑑みた企業業績の落ち込みはまだ続きそうです。

FRB（連邦準備制度理事会）は3月4日、FFレート（フェデラルファンドレート：短期金利の誘導目標）を0.5%緊急利下げし、16日には1.0%の追加利下げを行ない実質ゼロ金利にしました。月末にかけトランプ政権と与野党で総額2兆ドル超の経済対策を決定し、家計に1,200ドルの現金給付をするほか、打撃を受けた産業へ5,000億ドル充当する予定です。ドイツは7,500億ユーロ（90兆円）規模の経済対策を、7年ぶり赤字国債発行で実施する予定です。

ひふみワールドは消費低迷の影響を大きく受ける企業、個人ローン比率の高い金融、エネルギー関連企業などを売却した一方、新型コロナウイルスの影響が長期化し、変化する生活様式に合わせた商品、製品、サービスを提供している企業などを新規に組入れまたは買い増しました。なお、一時的に閉鎖されたフィリピン市場は直後に再開され、現在、閉鎖されている市場はありません。厳しい経済、生活状況が続いていますが、引続き調査・運用に全力を尽くして参ります。どうぞ、ひふみワールドをよろしく願いたします。



取締役運用本部長
ひふみワールド運用責任者
湯浅 光裕

※組入比率など運用についての記述は、すべてひふみワールドマザーファンドに関するご説明です。

※当資料では「ひふみワールドマザーファンド」のことを「ひふみワールド」と略する場合があります。

お知らせ

ひふみのオンラインコミュニケーション・センターをオープンします！

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、外出せずにご自宅で過ごすお時間が増えているのではないのでしょうか。

そこで、ご自宅からお気軽ご質問いただけるような「ひふみオンラインコミュニケーション・センター」を開設いたします！

日頃のひふみのお取引で感じている疑問や、これからひふみを始めたいけれどどうすればいいのかわからない、といった疑問に直接お答えする少人数質問会です。

全国どこからでもご参加いただけますので、この機会に、ひふみに関する疑問をお気軽にお尋ねください。

※ご自身の資産運用についてなど、個別のご相談はできかねますのでご了承ください。

《セミナーページQRコード》

開催日：毎週火曜日
(4月14日②、21日①②、28日①②)
①12:30～ ②18:30～

申込：[こちら](#)から
詳細は当社HPセミナーページをご覧ください。

※クラウドビデオ会議ツール「Zoom」を用いて行ないます。



戦後最悪の世界不況を招きつつあるコロナ・ショック 主要各国とも過去最大規模の金融・財政出動で対抗

新型コロナウイルスの世界的な大流行は、リーマン・ショック（2008～2009年）を上回る戦後最悪の世界不況を招きつつあります。世界の主要株式市場は、今後の世界大不況や金融市場の混乱・信用収縮の危険性を先取りする形で大幅な下落になっています。一方、リーマン・ショックの教訓を活かす形で、主要各国とも過去最大規模の金融・財政政策を迅速に打ち出し、経済の急激な縮小や信用収縮などの回避に動いています。

特效薬がない新型コロナウイルスの感染拡大を抑制するには人の接触や移動を制限するしかありません。欧州をはじめ感染拡大が顕著な国では厳しい外出制限を課すなど「都市封鎖（全土封鎖）」を断行しています。こうした施策は新型コロナの感染拡大を抑制するためには不可欠ですが、工場の操業停止など世界的な生産供給体制を寸断させ、供給サイドに大きな打撃を与えます。さらに需要サイドでは消費者の行動が制限され、観光・旅行、外食、映画・演劇鑑賞など、様々なサービス業が立ち行かなくなります。つまり、コロナ抑制過程で景気や企業業績が急激に悪化し、資金繰り難、企業・個人の倒産・破綻の増加、信用収縮を招く懸念が高まります。解雇が比較的行ないやすい国々では失業者の激増など雇用・所得環境が急速に悪化するでしょう。景気の深い谷が懸念されます。

これに対して主要各国では、金融政策面で金利の大幅引き下げやゼロ金利化、量的・信用緩和の断行、財政政策面でGDP比10%か、それ以上の財政出動を打ち出すなど、いわば政策総動員の様相です。こうした金融・財政政策は、根因のコロナ禍を退治する直接効果はありませんが、しかし、感染拡大が沈静化するまでの時間稼ぎの役割を担っていますし、感染抑制後の経済や株式市場の回復を支援することが期待されます。

新型コロナウイルスの地域別感染状況をみますと、中国では厳しい都市封鎖などによって新規感染者数が激減し、沈静化の動きになっていますが、欧州主要国や米国では急拡大が続き、さらに新興国でも感染拡大の領域に入りつつあるようです。リーマン・ショックの後、債務危機がイタリアやスペインなど経済・財政基盤の弱い国を襲う「欧州債務危機」が深刻化しましたが、新型コロナの感染急増の中、南欧で再び金融・経済危機の再燃リスクが浮上しています。新興国における感染拡大状況も要注意と推察されます。

今後の世界株式市場を占う上で、焦点は新型コロナウイルスの拡大がいつ頃終息に向かうかです。まずは、3月半ば以降、都市封鎖を強化している欧米で沈静化の気配がでてくるのかです。おそらく今年前半の世界経済は戦後最悪の縮小（マイナス成長）に陥りそうですが、仮に今後、欧米で沈静化の動きが出てくれば、厳しい実勢悪の中で、むしろ株価は先行して回復に向かう可能性があります。やや長い目で、集団免疫の醸成、特效薬やワクチンの開発などが進むとみられますので、コロナ禍の沈静化がみえてくれば、過剰な金融緩和や財政出動が世界経済の回復や世界的な株高を推進していくとみられます。

注目は「コロナ禍」の前と後で人々の生活スタイルや働き方などが激変しそうな点です。例えば、在宅勤務などのリモートワークやウェブ会議が普通になり、企業サイドはそのための情報インフラ基盤が不可欠になるでしょう。工場や物流倉庫では無人化・省力化の整備が進むと思います。ネット通販は一段と拡大し、ネット空間で消費・教育・娯楽サービスなどの提供の場が広がるでしょう。コロナ禍は、21世紀になって勢いを増すネット関連産業が伝統産業に取って代わる画期になりそうです。株式市場はその加速器の役割を果たすと同時に、新たな社会に適した企業なのか否かの選別物色を強めそうです。

(4月3日)



運用本部
経済調査室長
三宅一弘

公式ウェブサイトの「セミナー」ページで詳細のご確認やお申込みが出来ます。
このほかのセミナー日程は開催が決まり次第、公式ウェブサイトの「セミナー」ページにて随時更新してまいります。

ひふみアカデミー（月次運用報告会）



ひふみ投信、ひふみワールドの運用についてご報告するとともに、今後の経済や株式相場などの見通しについてご説明いたします。前半でひふみ投信、後半でひふみワールドをお伝えします。投資信託の運用状況について知りたいという方はもちろん、経済環境や株式市場について勉強したい、この先の経済見通しを知りたい方にお勧めのセミナーです。

【当日のスケジュール】

- 19:00～19:30 ひふみ投信の運用報告
- 19:30～19:50 ひふみワールドの運用報告
- 19:50～20:30 FAQ

※4月のひふみアカデミーは、当社で「ひふみ投信」「ひふみワールド」を口座をお持ちの方にYouTubeにて限定配信いたします。視聴用URLをご登録いただいたメールアドレスにお送りいたしますので、ご確認ください。当社で口座をお持ちでない方は、後日配信する動画をご覧ください。
※リアルタイムチャットによるご質問も受け付けます。その際、あらかじめYouTubeアカウント登録・ログインが必要となります。

ひふみアカデミー

セミナー名	開催日時	開催形式	備考
ひふみアカデミー 2020年4月【動画配信】	4月9日(木) 19:00～20:30	YouTube (ライブ配信)	「ひふみ投信」または「ひふみワールド」を保有の方に限定配信URL送付
ひふみアカデミー 2020年5月	5月14日(木) 19:00～20:30	未定	開催形式は新型コロナウイルス感染状況を踏まえて検討中

動画配信のお知らせ

レオス・キャピタルワークスの公式YouTubeでは、当社が運用・販売する投資信託「ひふみ投信」「ひふみワールド」などに関する動画を投稿しております。

レオス・キャピタルワークス
公式YouTube QRコード



ひふみの運用について報告を行なうセミナー「ひふみアカデミー」、当社トレーダーが当日の相場動向について2分程度で解説する「レオスの市況解説」、当社経済調査室長の三宅がマクロの視点から経済動向を解説する「三宅の目」、当社の経営理念などを説明する「レオスコンセプトムービー」など多様な動画シリーズを展開しております。

チャンネル登録をさせていただくと、動画更新情報をリアルタイムで受け取ることができます。ぜひ登録の上、ご視聴ください！

様々な動画の配信を行なっております

三宅の目 「新型コロナウイルス、米大統領予備選の行方」		https://www.youtube.com/watch?v=tnCqShtpZtE
ひふみアニュアルミーティング2019 アナリストセミナー 「2020年世界経済と市場動向」		https://www.youtube.com/watch?v=vgyB47PWb0
三宅の目 臨時号 「欧米で新型コロナウイルスの感染拡大、円高急伸リスク」		https://www.youtube.com/watch?v=IgxHxuvN4
世界的な株価変動について最高投資責任者からのメッセージ		https://www.youtube.com/watch?v=c4s_Co9oNho
三宅の目 「新型コロナウイルスの感染拡大と主要国政策総動員」		https://www.youtube.com/watch?v=6Qx9LJk6DM
三宅の目 増刊号 「コロナ禍における世界経済・株式市場の現状」		https://www.youtube.com/watch?v=kRX99OpVG2w
三宅の目 「主要国重要経済指標、経済支える“雇用”に注目」		https://www.youtube.com/watch?v=GASOq0FKebU

運用体制などに変化はありません

当社の親会社であるISホールディングスがSBIグループに株式を一部売却して、SBIグループが51.28%の当社株式を取得することに基本合意しました。株式譲渡は4月30日に行なわれる予定です。

社名、運用方法や直接販売、販売パートナーさんのサポート体制などすべてこれまでと同様に行なってまいります。藤野英人が代表取締役社長を継続し、他の経営陣も変わりません。

ひふみの運用体制も変わらず、藤野が責任を持って行ないます。新型コロナウイルス感染拡大で大変な世の中になっていますが、千載一遇の機会でもあります。

お客様の不安に寄り添いつつ、更なるよい商品、運用成果、サービスをご提供できるように全力を尽くしてまいります。QRコードで藤野からのメッセージをお読みいただけます。



当資料のご留意点

- 当資料はレオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり金利や相場等の変動により、元本欠損が生じる可能性があります。預金保険機構、貯金保険機構、および保険契約者保護機構の保護対象ではありませんが、証券会社を通じてご購入いただいた場合は投資者保護基金の保護対象となります。
- セミナー等で金融商品の説明等を行うことや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関連する追加の説明等を行うことがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行ないません。また、金融商品の案内、説明等はあくまで各お客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものでもありません。

ひふみワールドの特色

「ひふみワールド」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 日本を除く世界各国の株式等を主要な投資対象とし、成長性が高いと判断される銘柄を中心に選別して投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 株式の組入資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ④ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

ひふみ投信の特色（ご参考）

「ひふみ投信」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 国内外の上場株式を主要な投資対象とし、市場価値が割安と考えられる銘柄を選別して長期的に投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

投資リスク

■ 基準価額の変動要因

- マザーファンドを通じて株式など値動きのある証券（外国の証券には為替リスクもあります。）に投資いたしますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様（受益者）に帰属します。
- 投資信託は預金等とは異なります。

■ 基準価額の変動要因となる主なリスク

株 価 変 動 リ ス ク	国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります。
流 動 性 リ ス ク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信 用 リ ス ク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となることを信用リスクといいます。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。
為 替 変 動 リ ス ク	外貨建資産については、当該通貨の円に対する為替変動の影響を受け、組入外貨建資産について、当該通貨の為替レートが円高方向に変動した場合には、基準価額が下落する要因となり、損失が生じる可能性があります。
カントリー リスク（エ マージング 市場に関わ るリスク）	当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、基準価額が大きく変動するリスクがあります。なお、エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券の価格変動が大きくなる場合があります。

※基準価額の変動要因（投資リスク）は上記に限定されるものではありません。

収益分配金の仕組みについて

- 収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」の区分があります。
- 収益分配金支払い後の基準価額が、そのお客様（受益者）の個別元本と同額の場合または上回っている場合には、当該収益分配金の全額が「普通分配金」となります。普通分配金は、配当所得として課税対象になります。
- 収益分配金支払い後の基準価額がそのお客様（受益者）の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が「元本払戻金（特別分配金）」となります。当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額は普通分配金となります。
元本払戻金（特別分配金）は、実質的に元本の一部払い戻しとみなされ、非課税扱いとなります。お客様が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、その後の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

お申込メモ

	ひふみワールド	ひふみ投信 (ご参考)
商品分類	追加型投信／海外／株式	追加型投信／内外／株式
当初設定日	2019年10月8日	2008年10月1日
信託期間	無期限	
決算日	毎年2月15日 (休業日の場合、翌営業日)	毎年9月30日 (休業日の場合、翌営業日)
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行ないます。 分配金再投資専用のため、分配金は自動的に再投資されます。	
購入単位	1,000円以上1円単位の金額指定で受け付けます。	
購入価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額 (1万口当り)	
購入代金	販売会社が定める日までに販売会社にお支払いください。	
換金 (解約) 単位	1口以上の口数指定または1円単位の金額指定で受け付けます。	
換金価額	解約の請求受付日の翌営業日の基準価額 (1万口当り)	
換金代金	請求受付日から起算して5営業日目から支払われます。	
購入・換金	ニューヨーク証券取引所または香港証券取引所のいずれかの	—
申込受付不可日	休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行ないません。	
申込締切時間	購入・換金ともに、毎営業日の15時までに受け付けたものを当日のお申込みとします。	
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。	

お客様にご負担いただく費用

- ◇ 直接ご負担いただく費用 : ありません。
申込手数料・換金 (解約) 手数料・信託財産留保額 は一切ありません。
なお、「スポット購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。
- ◇ 間接的にご負担いただく費用 : 次のとおりです

	ひふみワールド	ひふみ投信 (ご参考)
運用管理費用 (信託報酬)	信託財産の日々の純資産総額に対して 年率1.628% (税込) の率を乗じて得た額 信託報酬とは、投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。日々計算されて、投資信託の基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき信託財産から支払われます。	信託財産の日々の純資産総額に対して 年率1.078% (税込) の率を乗じて得た額
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055% (税込) の率を乗じて得た額。(なお、上限を年間99万円 (税込) とします。)	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055% (税込) の率を乗じて得た額。(なお、上限を年間88万円 (税込) とします。)
その他費用・手数料	当該上限金額は契約条件の見直しにより変更となる場合があります。 日々計算されて、毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料 (それにかかる消費税)、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。	

ファンドの関係法人

委託会社： レオス・キャピタルワークス株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第1151号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

受託会社： (ひふみワールド)三菱UFJ信託銀行株式会社
 (ひふみ投信)三井住友信託銀行株式会社

販売会社： レオス・キャピタルワークス株式会社

各ファンドについてのお問い合わせ先
レオス・キャピタルワークス株式会社
 コミュニケーション・センター
 電話：03-6266-0123 (受付時間：営業日の9時～17時)
 メール：cc@rheos.jp